

本種の記録も1例しかない。これは車を運転中に舗装路を横断しようとしていた個体を偶然発見したものであった。

ホンマイマイカブリ *Damaster blaptoides blaptoides*
Kollar

赤穂市大泊：1977-IV-19;1sp, 1978-XI-24;1sp.

赤穂市谷口：1987-秋;1sp, 1995-V-28;1♂.

上郡町作用谷：1991-V-19;1sp(目撃).

千種町西河内：1996-VIII-3;1♀.

採集例は必ずしも多くないが分布域はかなり広いようである。東播でも加古川市(1981-IV-12)と小野市(1994-V-6)で採集している。千種町で得た個体は体長57mmあり、兵庫県産としては最大クラスではないかと思われる。

<参考文献>

1. 高橋寿郎(1995) “オサムシ掘りをめぐりて” てんとうむし特別号遊蟲千年 26-31.
2. 石川良輔(1985) 原色日本甲虫図鑑(II) pp. 14-54, 保育社.
3. 石川良輔(1991) オサムシを分ける錠と鍵 八坂書房.

兵庫県相生市における アサギマダラ越冬幼虫の確認 唐土 洋一

1997年12月21日、相生市矢野町瓜生(鍛冶屋谷)の三濃山麓にてアサギマダラの若齢から中齢までの幼虫10数等をキジョランより確認した。そのうちの6頭を持ち帰り、鉢植えのキジョランにつけて飼育(玄関先にて)しているが、寒さにも負けず脱皮を繰り返し大きくなっていく。いずれ蛹になるものと思われるが、この寒さの中で幼虫が活動しているということ事態が奇異にとれる昨今である。

注記) 相生市矢野町瓜生(鍛冶屋谷)では、鍛冶屋

川砂防ダム工事に伴う市道付替工事が行われており、全面通行止め(～3月25日)となっているが、引き続き本工事に入れば、このコースからの三濃山への登山等は当面不可能となる。

問い合わせ先：兵庫県上郡土木事務所

(TEL 07915-2-5111 担当:公園砂防課)

<参考資料>

- 1) 奥野晴三他(1989) 大阪付近のアサギマダラ 昆虫と自然24(5)37-42
- 2) 広畑政巳(1995) 兵庫県に於けるアサギマダラの越冬の記録 -姫路昆虫同好会結成20周年記念- てんとうむし特別号 「遊蟲千年」 118
- 3) 唐土洋一(1997) アサギマダラの記録 てんとうむし(11)84

ソバの花に來たチョウ 唐土 洋一

今年(1997)、佐用郡三日月町広山の休耕田にソバが植えられていた。ソバの花は白いものとばかり思っていたが、何とピンク色をしたそれは見事なものであった。聞くところによれば、この種は今年始めて植えられたヒマラヤ原産の高嶺ルビーという品種らしい。

来年もどこかの休耕田に植えられるものと思うが、詳しいことはわからない。興味のある方は「味わいの里三日月(0790-79-2521)」の小林所長に聞かれるとよい。

観察日：1997年10月19日 午前10～12時にかけて、観察出来たチョウの数(*印のものは、写真撮影出来たもの)は下記に示した11種類であった。

- | | |
|--------------|-------------|
| ✓ *①アカタテハ | ✓ *⑦テングチョウ |
| ✓ *②ヒメアカタテハ | ✓ *⑧ウラナミシジミ |
| ✓ *③キタテハ | ✓ *⑨ベニシジミ |
| ✓ ④ウラギンヒョウモン | ✓ ⑩ヤマトシジミ |
| ✓ *⑤モンキチョウ | ⑪チャバネセセリ |
| ✓ *⑥モンシロチョウ | |